【展開図】　　なのはな組（４歳児）　　今日のねらい　・友達とイメージを共有し、夢中になって作ったり、遊んだりすることを楽しむ

|  |
| --- |
| 予想される子どもの活動　　　　　[　　　　　　　　　　　]　活動に対する留意事項 |
| ９：３０  みんなで話そう  ・昨日までの遊びを振り返り、今日はどんな遊びをしたいか聞くことで想像を膨らませたり、楽しみにしたりしながら遊びに入れるようにする。   |  | | --- | | パン屋さんになって遊ぼう | | 1. パン屋さんになってパンを売る。   自然物を使ってパンを作る。   1. お客さんになって、パンを買ったり食べる真似をしたりする。 |  |  | | --- | | 本屋さん、図書館の人になって遊ぼう | | 1. 本屋さんで本を作ったり、図書館で本を見てもらったりする。 2. お客さんになって、本を選んだり、見たりする。 |  |  | | --- | | 作って遊ぼう | | 1. 窯に煙突をつける。 2. トンネルや壁に絵を描く。 |   ・子どもの想像や発想を大切に受け止め、イメージしたことを自分なりに表現したり、作ったりしようとする姿を十分に認めていく。一人一人の遊びの様子をよく見て、イメージが広がりそうな言葉をかけたり、思うようにいかず困っている時は、どうしたらできるのか考えるきっかけとなる言葉をかけたりする。  ・子どもの遊びの様子を見守り、友達と遊ぶ楽しさを味わいながらイメージを共有したり、やりとりを広げたりできるよう仲立ちをしていく。  アリのお家で遊ぼう  ①②イメージを膨らませたり、素材を選んで作ったりできるよう様々な素材を用意し、取り出しやすいよう分類しておく。はさみやボンドの使い方を見守り、必要に応じて使い方を知らせたり、片付けをしていない時には声をかけたりする。  ①②子どもが考え、工夫していることを褒めたり、認めたりし、自信につなげていく。  ①②友達と一緒に作ろうとする姿を見守り、イメージを共有しながら作ることが楽しめるようつなげていく援助をする。  ①それぞれがイメージを膨らませながら、じっくり本作りができるようスペースを確保する。  ①②友達とのやりとりが楽しめるよう見守り仲立ちをしたり、友達が作った本のよいところを周りの友達にも知らせたりする。  ①②友達とのやりとりが楽しめるよう見守ったり、時には保育者も一緒に遊び、やりとりが広がる声かけをしたりする。  ①これまでに集めた様々な自然物を用意し、イメージを膨らませながら作れるようにする。  ①②イメージを膨らませたり、素材を選んで作ったりできるよう様々な素材を用意し、取り出しやすいよう分類しておく。はさみやボンドの使い方を見守り、必要に応じて使い方を知らせたり、片付けをしていない時には声を掛けたりする。  ①②子ども達が考え、工夫していることを褒めたり、認めたりし、自信につなげていく。  ①②友達と一緒に作ろうとする姿を見守り、イメージを共有しながら作ることが楽しめるようつなげていく声掛けをする。  １０：３０  片付けをしよう  おはなしタイム  ・遊びを振り返り、子どもの楽しかった思いを共感、共有し、「明日も遊びたい」と期待がもてるようにする。  ・おはなしタイムが苦手な子どもには、個別に声をかけ、少しの時間でも“楽しかった”思いが共有できるようにする。  ・子どもの様子を見ながら片付けを知らせ、「楽しかったね」「またしようね」と声をかけ、満足な気持ちを持ちながら片付けに向かえるようにする。 |

評価の視点　　・イメージを膨らませ、夢中になって作ったり遊んだりしていたか。

　　　　　　　・友達とイメージを共有したり、やりとりしたりすることを楽しむことができていたか。

　　　　　　　・遊びを楽しむための物的環境や、子どもの思いに寄り添った保育者の声かけ、援助は適切であったか。